

第3次産業と製造業の安全交流会を開催

主催 西尾労働基準協会 後援 岡崎監督署西尾支署

背景

死傷者数



■ 製造業、建設業、陸上貨物運送事業等 → ほぼ横ばい

第三次産業 → 大幅増加 社会福祉施設 40%が腰痛

第三次産業の安全が
国・県の第14次労働災害防止計画の重点に

異業種安全交流会の実施

日時 2023年10月6日(金)
協力 デンソー西尾製作所
参加者 20名 社会福祉施設の皆様
テーマ 製造業における腰痛対策

実施風景とポイント



姿勢を評価し
対策優先順位付け

作業姿勢	点数
膝を深く曲げた中腰で上体を前屈	10
膝を深く曲げた中腰	9

『働くことによって健康・身体機能を損なうことがあってはならない』が基本理念
姿勢と作業の関りを調べて、無くす減らす
➡設備で作業を支えるの順でマネジメント

実施後アンケート

交流会の内容



今後業務に活かせるか



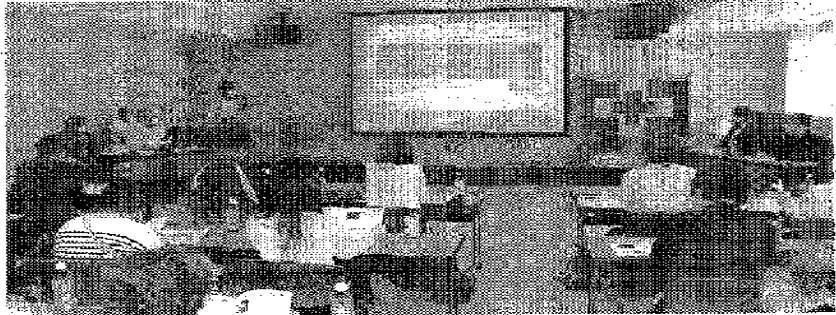
社会福祉安全の一助に・・・“今後に活かせる”とっていただきました

製造業の腰痛予防策学ぶ

社会福祉施設職員ら参加

デンソーで安全交流会

西尾労基協



西尾労働基準協会(二)造業 社会福祉施設安全 (宮英樹会長) 主催の「製」交流会が6日、自動車部品製造など死傷者数の割合が増加傾向を手に掛けた。

デンソー 本年度が初年度となるデンソー西尾製作所、愛知労働局の第14次羽角町IIで、第三次産業における開かれ、安全対策が重点に掲げられたことを受け、製造業の職員らがのトップメーカーである製造業にデンソーの取り組みを学ぶ

おける腰痛 予防を中心とした労働 災害対策を学んだ。交流には、市内の社会福祉施設の職員は、全体的には減少傾向にあるも

長が「従来は、協会の会

員向けに法令教育や講習

会、リスクアセスメント

の実践活動なども行つて

いる。これから5年間の

第14次の計画の中で、腰

痛に起因する第三次産業

の労働災害が増加してい

るということで、重点課

題とされた意向を受け

て、社会福祉施設の皆さ

んを迎え、全国に先駆け

てこういった場を設け

た。労災防止の一助にな

ればと思っている」とあ

いさつした。

また共催者の岡崎労働

が多くなってしまう。他

の業種でもある。製造業

では、ここまでもつてい

るということを学んでい

ただきたい」と述べた。

この後、デンソー西尾

製作所安全衛生部の吉川

昌宏さんが「デンソーに

おける腰痛予防対策」を

テーマに、同社の取り組

みを説明した。

吉川さんは、「一人は、

働くことによつて生命を

失うことはもとより、健

康 身体機能を損なうこ

とがあつてはならない」

とする安全衛生の基本理

念を紹介。安全衛生管理

の考え方などを示した上

で、性別・姿勢に応じた

重量制限を設けているこ

とや、疲労防止を図る新

腰足負担評価法、転倒防

止体操を取り入れるな

ど、同社の腰痛予防対策

を具体的に説明した。

一日一書

西尾市 杉山青苑

素 素 籠

素 籠

牛や豚、鳥の挽肉、魚肉をゆでて味付けし、汁気がなくなりばらばらになるまで炒めた食品。お弁当によく入れますね。そぼろ大好きです。おいしいです。おね。おいしいものを好きな時に食せよ。感謝 感謝です。

「あいちのかおり」収穫ピーク 今年も作柄は良好

